

だんごむしがまるくなるわけ

こたえ

2年 せつめい文 17ばん

なまえ

石をうごかすと、その下からだんごむしが出てきます。ゆびでそつとさわると、くるりとまるくなります。どうしてまるくなるのでしょうか。

だんごむしのせなかは、かたいからでおおわれています。おなかのがわはやわらかく、細い足が十四本ならんでいます。

ありなどのときにおそわれると、だんごむしは、せなかのからを外がわにしてまるくなります。すると、やわらかいおなかと足が、かたいからの中にかくれます。

まるくなるのは、自分の体をまもるためのちえなのです。あたりがしずかになると、また体をのばして歩きだします。



(1)「おおわれて」のいみに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア 上からすっぽりかぶさって
イ ところどころあながあいて
ウ 水にぬれて
エ まん中で二つに分かれて

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア だんごむしは、さわるとすぐににげだす。
イ だんごむしのせなかは、やわらかい。
ウ だんごむしのおなかのがわには、細い足がならんでいます。
エ だんごむしは、まるくなったままずっとうごかない。

(3) だんごむしのせなかは、何でおおわれていますか。文しようにから五字で書きぬきましょう。

か た い か ら

(4) だんごむしがまるくなるのはなぜですか。書きましょう。

(れい) 自分の体をまもるため。

書き方のヒント

四つ目のだんらくのはじめの文を見よう。

「うため。」でおわらせる。

解答・解説 だんごむしがまるく なる わけ（2年・せつめい文）

もん 問1 ア

二つ目の だんらくに「せなかは、かたい からで おおわれて います」と 書いて あります。「おおわれて」は、^{うえ}上から すっぱり かぶさっている ようすです。

もん 問2 ウ

二つ目の だんらくに「おなかの がわは やわらかく、^{ほそ}細い ^{あし}足が ^{じゅうよんほん}十四本 ならんでいます」と 書いて あります。^{ひと}一つ目の だんらくに「くるりと まるく なります」と あるので、アは ちがいます。二つ目の だんらくに「せなかは、かたい からで おおわれて います」と あるので、イも ちがいます。^{よっ}四つ目の だんらくに「また 体を のばして ^{ある}歩き だします」と あるので、エも ちがいます。

もん 問3 かたい から

二つ目の だんらくに「せなかは、かたい からで おおわれて います」と 書いて あります。

もん 問4 （れい）自分の 体を まもる ため。

^{よっ}四つ目の だんらくに「まるく なるのは、^{じぶん}自分の ^{からだ}体を まもる ための ちえなのです」と 書いて あります。^か体を まもる ことが 書けて いれば ○です。^{みっ}三つ目の だんらくの「やわらかい おなかと ^{あし}足が、かたい からの ^{なか}中にかくれます」をつかって、「やわらかい おなかと ^{あし}足を かくす ため」と 書けて いても ○です。